

いなづま

ご挨拶

理事長 玉津 眞史

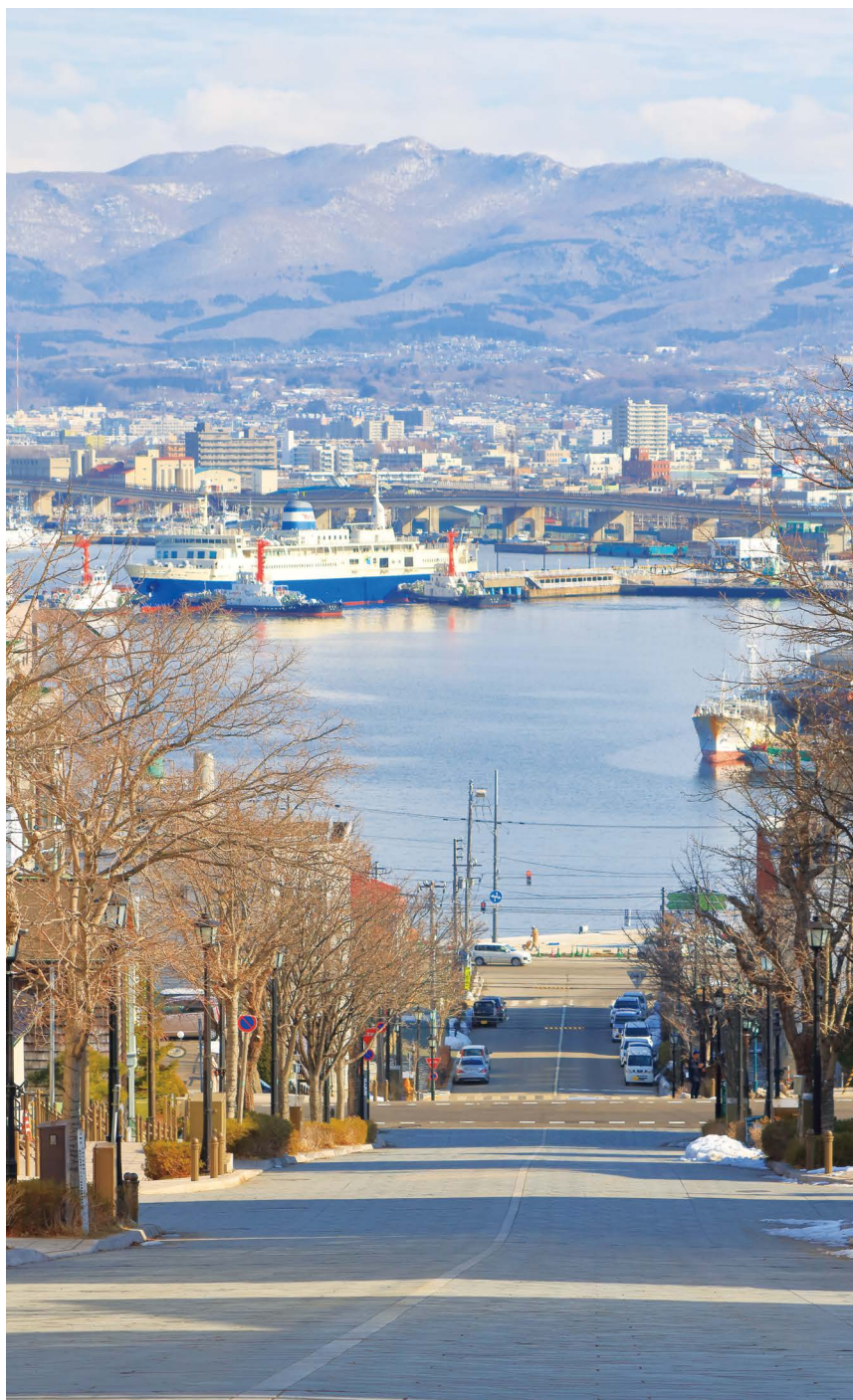
今年は例年に比べ降雪が少なく、高齢の方々にとっては雪かきの負担が軽減され、身体に優しい冬でした。まもなく四月になろうとしています。花見が待ちどおしい季節になりました。今年の開花予想は昨年より早めの、四月二十二日前後が見ごろになりそうです。昨年は開花日が四月二十四日、満開が五月四日でした。新型コロナウイルス感染症の拡大が世間を騒がしていますが、花見の時期には収束し、気軽に外出できる環境のもと、桜の鑑賞ができる事を期待しています。

四月一日より、改正健康増進法が全面施行になり、受動喫煙防止

対策が必要になりました。飲食店、事務所をはじめ全ての施設がその対象になりました。当組合においても、敷地内の喫煙が禁止になります。受動喫煙とは他人が吸っているタバコの煙や吐き出す煙を吸わない人が吸い込んでしまうことです。煙にはニコチン、タールなどの有害物質が含まれて、タバコを吸っていない人にも影響を及ぼすことから健康増進法が改正されました。タバコを吸う組合員の皆様には、ご協力を宜しくお願いいたします。

組合のホームページが、昨年十二月二十日より開設しております。組合に関する情報が満載です。随時更新してまいりますので、是非アクセスしてみてください。

これから夏に向かい気候も変化します、組合員の皆様には健康に充分留意され、無事故、無災害で仕事に励んでください。些細なミスが重大故につながります。基本を忠実に守ってください。



船体改修を終えタグボートでえい航される摩周丸

撮影：伊東 照勝

役員会だより

第五回役員会

元・十・二十五

一、経過報告

鈴木電気工業所代表者ご母堂逝去

二、貸付報告・無し

三、各支部・各委員会報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

(1) 組合員の異動

(2) 「いなづま」第一四六号の発行について

(3) 令和元年度上期末決算及び監査について

(4) 平成三十年度住友団体共済配当金の還付について

(5) 組合新年会・永年組合員・永年勤続者表彰式について

五、事業委員会事項

(1) 港まつり決算報告について

(2) 第一種電気工事士試験（筆記）準備講習会の開催結果について

(3) イルミネーション取付工事の実施について

(4) 第一種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催について

(5) 一級電気工事施工管理技術検定試験準備講習会について

六、その他

(1) 第十九回道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦について

第八回役員会

元・十二・六

一、経過報告・無し

二、貸付報告・無し

三、各支部・各委員会報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

第五回役員会

一、経過報告

二、貸付報告・無し

三、各支部・各委員会報告並びに提案事項

四、総務委員会事項

五、事業委員会事項

(1) イルミネーション取付工事の施工結果について

(2) 第一種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催結果について

(3) 電設業務研修会（内線工事会社研修会）の開催について

(4) 第一種電気工事士定期講習の開催について

(5) 二級引込線工事士認定講習・認定試験の開催について

六、その他

(1) 一級電気工事施工管理技術検定試験準備講習会実施アンケートの結果について

(2) 年末年始における組合業務について

(3) 事務局職員の年末賞与の支給について

第七回役員会

二・二・十四

一、経過報告

(有)後藤電機商会代表者ご母堂逝去

北興通信(株)代表者ご母堂逝去

二、貸付報告・無し

三、各支部・各委員会報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

(1) 令和元年度永年組合員・永年勤続者表彰及び令和二年新年会の開催結果について

(2) 組合敷地内禁煙について

(3) 「いなづま」第一四七号の発行について

五、事業委員会事項

(1) 安全パトロールの実施について

(2) イルミネーション撤去工事について

六、その他

(1) 「フルハーネス」の導入について

組合行事

10月2日 第一種電気工事士定期講習（フォーポイン トバイシエラトン函館七十六名受講）

7日 検満業者打合せ会議

9日 第七回ホームページ担当委員会（組合会議室）

10日 道工業組合事務局長会議に奥村事務局長出席（道電気会館）

全日 北部支部会議

16日 第三十三回電気工業事業全国大会（石川県金沢市）玉津理事長他八名出席

17日 正副理事長・事務局長会議

21日 第五回役員会

25日 電気工業事業コンプライアンス研修会（組合会議室）三十名受講

11月1日 検満業者打合せ会議

7日 中間監査

全日 第八回ホームページ担当委員会（組合会議室）

11日 イルミネーション取付工事（八幡坂・二十間坂・明治館前通り・開港通）

22日 道工業組合上期末監査に大倉副理事長出席（道電気会館）

12日 道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席（道電気会館）

13日 イルミネーション取付工事（湯川）

20日 東部支部研修旅行（青森県）

26日 第一種電気工事士（技能）受験準備講習会（ポリテクセンター）十九名

24日 北電・工事組合連絡協議会（組合会議室）北電六名・組合七名

27日 西部支部会議

全日 第一種電気工事士（技能）受験準備講習会（ポリテクセンター）十九名

30日 第一種電気工事士（技能）受験準備講習会（ポリテクセンター）十九名

29日	渡島支部研修旅行（九州）
12月1日	第一種電気工事士（技能）受験準備講習会
12月1日	（ポリテクセンターⅡ十九名）
2日	検満業者打合せ会議
6日	第六回役員会
10日	北部支部会議・忘年会
11日	検満業者打合せ会議
14日	西部支部忘年会
19日	東部支部会議
26日	検満業者打合せ会議
1月6日	函館市新年交礼会
8日	東部支部新年会（花びしホテル）
10日	電気関係賀詞交歓会（札幌）
15日	検満業者打合せ会議
16日	八雲支部安全祈願祭・新年会
23日	道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席（道電気会館）
31日	令和元年度永年組合員・永年勤続者表彰及び令和二年新年会（花びしホテルⅡ出席者合計一三五名）
全日	検満業者打合せ会議
2月14日	第七回役員会
15日	第九回道工業組合青年部連合会会員大会（ホテル函館ロイヤルⅡ出席者合計一四六名）
全日	福島支部新年会（花びしホテル）
20日	低圧検満工事合同安全パトロール（北電二名・組合三名・施工会社五社）
全日	江差支部北工連絡会（北電江差ネットワークセンター）
3月2日	江差支部会議・新年会（大黒屋旅館）
22日	イルミネーション撤去工事（湯川地区）
3日	いなづま編集会議
2日	イルミネーション撤去工事（西部地区）
9日	イルミネーション撤去工事（西部地区）
11日	人材育成研究会（組合会議室）
18日	

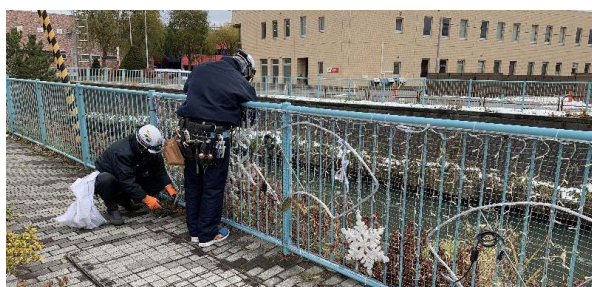


今年度のイルミネーション関連事業は昨年同様、二十間坂・八幡坂・明治館前通り・開港通りを施工した西部地区の「はこだて冬フェスティバルイルミネーション」に加え、函館市湯川町の花びしホテルそばの足湯から海岸線の漁火通りに続く鮫川沿いの道路にイルミネーションを設置した「湯の川冬の灯イベント」の二箇所を施工しました。

取付工事では、西部地区が十一月十一日～二十二日まで、延べ八社八十九名の電工と五十八台の高所作業車を動員して施工され、湯川地区は計画が持ち上がり、以降、長く携わっていただいた(株)対馬電設さんに施工していただきました。



はこだて冬フェスティバル&湯の川冬の灯イベント



西部地区、湯川地区の両イルミネーションとも十一月三十日から二月二十九日までの点灯期間で、クリスマスから年明けまでは賑わったのではないかと思います。点灯期間の後半はコロナウイルス感染症の影響で客足も伸びなかったのではないのでしょうか。

組合創立五十周年記念事業として八幡坂にイルミネーションを敷設して以来、現在まで継続した函館電気工事組合独自の事業であるということ、冬季の函館市の観光の一助となる地域貢献の観点からも今後も継続して実施していきたいと考えております。

本誌が発行される三月下旬には、撤去工事も終了し、今年度のイルミネーション関連事業は終了していることと思います。取付工事・撤去工事ともご協力くださいました組合員とその従業員の皆さまには、誌上をお借りして改めまして厚く御礼申し上げます。

令和 元年度 永年組合員 永年勤続者 表彰 会式

令和元年度永年組合員・永年勤続者表彰式並びに令和二年新年会が花びしホテルにおいて工藤函館市長ほか来賓二十六名を迎え、組合員、青年部員など一三五名が出席して開催されました。

最初に関係物故者に対して黙祷をささげた後、玉津理事長より「本年四月より電力システム改革の最終段階である『発送電の法的分離』が施行される。電気工事業界を取り巻く環境もさらに大きく改革を求められ、これから組合はプロ集団としてさらに学習と変革を続けながら進化が求められてくる。」と挨拶。



続いて永年組合員、永年勤続者表彰に移り、組合加入六十周年で(有)小西電気商会、五十年で(有)吉浦電機商会ほか一社、四十年で(株)シマデン産業ほか二社、三十年で(株)ケイソーほか三社が表彰された。永年勤続者では、勤続三十年以上で樺電工業(株)山岸徳英氏ほか、二十年で三名、十五年以上で三名、十年以上で六名が表彰され、玉津理事長より表彰状と記念品が贈られ、被表彰者を代表し、(株)ケイソー永井拓実氏より謝辞が述べられました。

来賓の祝辞では工藤壽樹函館市長、北海道電力(株)送配電カンパニー函館支店榎原一朗支店長よりお祝いの頂戴し、表彰式は閉会となりました。

引き続きの新年会では、對馬副理事長の発声で祝杯をあげ、来賓、組合員、青年部員が親しく懇親するなか、大倉副理事長が感謝と御礼を述べて盛会のうちに終宴となりました。



令和元年度 永年組合員・永年勤続者表彰者名簿（敬称略）									
（永年組合員）									
事業 所 名				事業 所 名					
組合加入六十年				一 社					
(有)小西電気商会									
組合加入五十年				二 社					
(有)吉浦電機商会				ツボ電設工業					
組合加入四十年				三 社					
(株)シマデン産業				(有)千秋電気					
鈴木電気工業所									
組合加入三十年				四 社					
(株)ケイソー				(株)東栄電気工業					
(有)平和電気商会				(株)新宮電気設備					
（永年勤続者）									
事業 所 名				氏 名					
勤続三十年以上				一 名					
樺電工業(株)				山 岸 徳 英					
勤続二十年以上				三 名					
梶原電気工業(株)				中 山 知 丈					
樺電工業(株)				大 川 原 隆 介					
(有)イナミ電気工業				佐々木 祐 介					
勤続十五年以上				三 名					
(株)ケイソー				永 井 拓 実					
(株)ケイソー				石 渡 裕 子					
組合事務局				百 井 尚 子					
勤続十年以上				六 名					
北興通信(株)				佐 藤 文 幸					
北興通信(株)				佐 藤 義 和					
北興通信(株)				山 田 敏 一					
(有)拓翔電設				齊 藤 智 和					
(有)拓翔電設				天 谷 英 人					
日興電気(株)				山 上 貴 史					

北電配電G・組合検満計測器 取替工事 合同安全パトロール

令和二年二月二十日に北海道電力(株)送配電カンパニー函館支店配電グループと工事組合による低圧検満計測器取替工事合同安全パトロールが実施されました。北電より二名、組合から三名で検満工事会社五社の現場をパトロールしました。

今年も晴天に恵まれ安全パトロール実施日の数日前に降った大雪もほとんど解け、とても暖かいなかで実施することができました。

ほぼ全社が無停電工法による取替作業で計器から抜いた一次側二次側各々の幹線へ取付するキャップに番号や色づけがされていたり、また幹線自身にマーカーで印づけをして判別をしたり等、誤結線防止への対策に各社様々な工夫が見られ、これまでの安全パトロールが活かされているなど実感しました。

検満取替工事においてスマートメーターが導入されて約五年が経過し、スマートメーターのデータを送受信するハンディターミナルを用いた検満取替工事が始まって約二年半が経過しました。検満業者各社ハンディターミナルの扱いにも慣れ安全パトロールの際も作業はとてもスムーズでした。ただ慣れによって作業が惰性になり、僅かな気の緩みからミスに繋がることもゼロではありません。

作業に当たる際は常に確認・指差し呼称を心掛け安全作業に努めて頂きたいです。

最後になりますがお忙しい中ご協力頂きました皆様には厚く御礼申し上げます。



電設業務研修会

電設業務研修会は道工組の規定である「工事適正化運用要領」に制定されており、毎年二月から三月末日までに開催することとなっている研修会です。

本年二月十七日より高圧電設申込WEB受付が開始したことから、四月一日より低圧電設申込の帳票が変更されることから、その案件をメインに重要な研修会として実施する予定でございましたが、道南地区においても「新型コロナウイルス感染症」が確認されたことから、二月二十七日開催予定でありました、函館市内三支部と渡島支部組合員を対象とした令和元年度電設業務研修会は中止させていただきました。八雲・江差・福島島の三支部については、ほくでん各ネットワークセンターの協力を得て、予定通り開催されました。中止させていただいた研修会で使用する予定でありました資料については三月十一日、八雲・江差・福島島の各支部の組合員を含む全組合員に送付をさせていただきました。

また、四月から使用する新たな帳票については、ほくでんのホームページにアップされる予定になっているほか、組合ホームページのダウンロード集のページにアップいたしますので、適宜ダウンロードして、ご使用くださいますようお願いいたします。

支部だより

東部支部研修旅行

東部支部では令和元年十一月二十三日～二十四日の日程で青森県で研修旅行を実施しました。

当初北部支部と合同で研修旅行を行う予定でしたが、諸般の事情で北部支部長・副支部長のみの参加となり、東部支部員三十名中、十二名、事務局一名計十五名での旅行となりました。初日はゆっくり午後か



渡島支部研修旅行

渡島支部では、十一月二十九日～十二月一日の日程で支部員十一名が参加し、九州へ研修旅行を開催しました。

初日は、函館空港から羽田空港を経由し、大分県へ。杵築城と別府市の血の池地獄などの地獄巡りを見学し、別府温泉で一泊。二日目は湯布院、太宰府天満宮を散策し福岡市内での宿泊となりました。参加された皆さんにも喜んでいただき、有意義な研修旅行となりました。

残念ながら新年会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止にさせていただきますでしたが、改めて親睦事業等企画したいと思っておりますので、今回研修旅行に参加できなかった方も、次回はお参加のほどよろしく願っています。



渡島支部支部長 中野 英

ら出発で浅虫温泉へ。温泉で日頃の疲れを取り宴会で親睦を深め、青森の夜は更けていきました。

二日目はバスで、鶴の舞橋、高山稻荷神社、十三湖を見学し、青森を十分堪能し、津軽今別より函館に戻りました。

今回の旅行は近県でゆっくり温泉に浸りたいと企画しました。また企画を練りたいと思いますので是非参加をお願いします。

東部支部支部長 伊東照勝

青年部活動報告

【北海道電気工業事業工業組合青年部連合会 第九回会員大会】

開催日時 令和二年二月十五日(土)

午後一時三十分～

開催場所 ホテル函館ロイヤル

大会参加者 一四六名

令和二年二月十五日(土)に北海道電気工業事業工業組合青年部連合会会員大会が私達の地元である函館市において、多数のご来賓と函館工業高等学校一・二年生の生徒、道内外から多くの青年部員が出席し、開催されました。

第九回となる会員大会は、青年部相互の親睦を図り、さらなる横の繋がりを深めることを第一の目的とし、加えて、団塊世代の退職や毎年道内から道外へと多くの若者が就職を機に流出し、人手不足が問題となつていきます。そこで次世代を担う工業高校生と青年部が意見交換することにより電気工業事業に対する不安や疑問を解消し、電気工事の魅力伝えることで技術者確保に繋げることを第二の目的としています。

さて、今大会は社会保険労務士の谷口先生の『働くときの基礎知識』についての講話から始まりました。内容としては、会社と労働者の関係や労働時間・各手当と賃金に関する話をお話し頂きました。社会人である私達にとっては知って当然の知識ですが、お話しを聞いていて会社側はルールを守り、誠実でなければなら



らないし、これから社会人になる人達にとっても最低限知っておかなければならない知識だと再認識しました。続いては一つのテーブルに青年部数名と工業高校の生徒が座り、テーマに沿って意見を出し合う意見交換会が行われました。私が参加したテーブルでは、まず、工業高校の生徒に「どうして工業高校選んだのか」と尋ねてみました。彼は少し照れながら、「二〇一八年九月六日の北海道胆振東部地震で起きた『ブラックアウト』を経験し、電気に興味を持ち、また、その大切さや重要さを知り、この業界に入りたいと思い、工業高校の電気科進学を決めた」と話してくれました。さらにもう一つ、「就職先を選ぶ基準は何ですか」と尋ねてみたところ、彼は「自分が生まれ育った地元は嫌いではないけれど大都会の大企業に就職して高い給料を貰いたいから」と教えてくれました。その話を聞いて色々な意見がありました。「大企業に就職したからといってすぐに高い給料を貰えるとは限らない」、「せっかく就職したのに自分の思っていた仕事とは違うこともある」、「都会に行かなくても地元にも様々な会社があり色々な人達がいるので外見だけでなく会社の内面をしっかりと見て欲しい」、「会社の規模が大きくなって自分ができる気になれば、他の場所でも高い技術は身につけられる」等の意見があり、その他にも「電気工事とはいえ、内線や外線等の幅広い分野があり、全てが目に見える仕事ではないけれど自分が携わった仕事が生産として残っていくとそれが自信になり、誇りになる」等、このような意見交換が行われ、工業高校生には我々の思いと電気工業の魅力伝えることが出来たのではないかと思います。これからの若者達に地元で就職してもらうために我々ができる取り組みとしては、道内の各地域でも学校側との連携を密にし、生徒はもとより保護者への理解を十分に得て、電気工事に対するイメージアップを図り人材確保へと繋げていくことが大切だと思いました。こうしてテーマに沿った意見やその他の雑談なども交え、終始和やかな雰囲気で見え交換できたと思います。その後各テーブル毎の意見交換の発表が始まり、座長からの発表後、急ぎょ工業高校生から感想を話してもらうこととなり、生徒たちからは「今回の大会に参加するまでは会社を選ぶ基準が休日や給料等の待遇面で選んでいたが、色々な話を聞

けたことでこれからの就職活動に繋げていきたい」、「地元で就職したい」、「今回の会員大会参加することができて非常に良かった」等と言ってもらいました。皆さん堂々と感想を述べてもらい今回の会員大会に参加して各地域から来た青年部や色々な人達と交流を深めたことがこれからの次世代を担う生徒達に素晴らしい経験をしてもらえたのだと思います。

大会も後半に入り懇親会が始まりました。余興では函館学生連合の息吹の皆さんが迫力のある演舞を披露してくれました。さらに余興の後半からは函館青年部による電線マン音頭で宴を盛り上げました。沢山の参加者がステージに上がり踊りに参加して頂きました。私も急ぎょ電線マンの衣装を着てステージで踊ることになりました。ステージで踊っていると皆さんが本当に盛り上がりたてくれたか分からなく不安でしたが、多くの方から「楽しかった」等の感想を聞くことができ、懇親会の方が盛り上がりたてられて非常に良かったと思います。

会員大会が終わり、私が感じた事は、今回の大会を開催するために道工組青年部が多く時間をかけて準備し、沢山の方と協力し合い、そして各地域の青年部や工業高校生達など多くの方に参加して頂き、会を準備する人達とその会に参加する人達が一つのテーマに向かい大会を開催し、交流を深めることがこれからの電気工業業界の発展に繋がっていくのだと思いました。私もわずかの後半からお手伝いしかできませんでしたが、今回の大会に参加して多くの人達と交流出来たことをこれらの活動に生かしていきたいです。そしてできればこの経験を沢山の青年部員にも感じて頂ければと思います。

以上で活動報告とさせていただきます。

函館地方電気工事協同組合 青年部
交流委員会委員長 加我 義明



組合員の異動

◎ 脱 退

- 一、(有)美光電気サービス 令和元年十一月十五日
二、古海電気 令和元年十一月二十日
一、吉田電気商会 令和元年十二月二十日

お悔やみ

令和元年
八月二十九日 鈴木電気工業所 代表者ご母堂
鈴木みさこ殿ご逝去
令和二年
一月十九日 (有)後藤電機商会 代表者ご母堂
後藤スミエ殿ご逝去
北興通信(株) 代表者ご母堂
池田イセ殿ご逝去
一月三十日

組合ホームページ開設

かねてより開設準備を進めておりました、「函館地方電気工事協同組合 公式ホームページ」が昨年十二月二十日に開設されました。

組合の概要、理事長ご挨拶、組合事業新着情報、会報(いなづま)、会員名簿、青年部活動、各種電気工事申請様式ダウンロード集、関係各団体リンク集の全八ページにて構成されております。

特に、会報(いなづま)は、発行されているかが定かではない、十一号のみ欠落しておりますが、創刊号から今号に至るまで、PDFにて掲載しております。かつての組合を振り返る良い機会かと思ひますので、是非一度アクセスしていただきたいと思ひます。

現在試行錯誤を重ねているところではあります。が、更新を怠ることなく、組合員に役立つ情報を遅滞なく迅速に提供できるよう運営してまいります。

で、よろしく願ひいたします。

なお、URLは以下のとおりとなっております。
<http://hakodenykyo.org/>

■今月の表紙について

『船体改修を終え、えい航される摩周丸』

青函連絡船の歴史は長く、明治四十一年より開設され、昭和六十三年に終航するまでの八十年間にわたり、青森・函館間を道民の足として就航されました。

函館市青函連絡船記念館摩周丸という名称で、現在、函館市若松町十二地先の公有水面にある摩周丸は、昭和二十三年から昭和三十九年まで就航した初代摩周丸からその役割を引き継ぎ、二代目摩周丸として昭和四十年から昭和六十三年まで青函連絡船として活躍した船舶で長く道民に親しまれました。

終航後、指定管理者が変わりつつも、博物館船として現在も市民や観光客に親しまれており、この度平成十五年以来、十七年ぶりの船体改修を終え、令和二年二月二十六日、対岸の函館どつくから三隻のタグボートでえい航される様子を今回も伊東理事に八幡坂から撮影していただきました。

編集後記

恐怖の新型コロナウイルス。北海道の鈴木知事は二月二十七日に緊急事態宣言を発令し、道民に対し出来る限り外出を控える要請と小中高の学校に休校を決定しました。その後、日本政府も追従し、小中高の休校及び大規模なイベントの自粛の要請を発表したことにより、全国でスポーツや文化イベントなどが中止となり、人の流れが止まりました。更に中国、韓国からの入国制限強化を要請し、日本経済は急激に縮小し始めています。しかし、今年オリンピックを控えている我が国において感染リスクを少しでも避ける上で、早い遅いはさておきやむを得ない対応であろうと思ひます。急激に人、物、金の動きが止まった日本において、多くの企業が悲鳴を上げており、厚生労働省は業績が悪くなつて従業員を休業させた企業に支払う「雇用調

整助成金」の特例を拡充し、感染拡大の影響で売り上げが落ちた企業にも幅広く適用することを決めましたが、周知を徹底し経済活動が停滞しないよう企業をしつかり支えていくことと安心させるためにもつと国が主導で方策を周知すべきであると考えます。

私達が暮らす函館は、北海道新幹線開業後より、増え続けたインバウンドの獲得と北関東・東北からの旅行客の増加に伴って、観光の街としてさらに地域経済を発展させてきました。ここ一二年は低金利で行き場を失った投資ファンドの金がかこ函館に流れ未曾有のホテル建設ラッシュが起こっています。約二五〇〇室増えると言われておりますが、ここ数年の観光客の減少を考慮しなくとも供給過剰なのは目に見えているとの事。更にこの世界恐慌なみのコロナショックによって観光の街函館はどうなってしまうのでしょうか。インバウンドだけでなく、国民の自粛等々により様々な分野においてキャンセルが止まらない状態はこの先も全く見えない状態です。

我々、電気工事業界としても中国生産の電子部品の納入が止まり国内工場での製品組立てに影響がはじめてきました。現段階ではエアコン、照明器具、換気扇などの資材に影響が出てきており、受注した工事の完成に大きな影響がそのうち出てくると予測し、早めの対策を講じるべきであると思ひます。また景況感が急激に落ち込んだところで、建設投資が縮小する可能性もあります。

コロナウイルスの深刻な影響がいつまで続くのか先が見通せない中で、私たち地元企業が被害を最小限に抑え、健全に経営を続けていくことができるよう、国には状況の変化に応じて、あらゆる手だてを尽くしてほしいと願うばかりです。(T・T)

題字 小寺 寛一(第二代理事長)

発行所 函館地方電気工事協同組合
編集 総務委員会
住所 函館市日乃出町7番22号
印刷所 龍文堂印刷株式会社



河村電器産業株式会社

北海道支店函館営業所

北海道支店
TEL (011) 0006
FAX (011) 0006
函館市本町六十五 富士火災函館ビル三階
TEL (011) 0011
FAX (011) 0011
札幌市白石区東札幌六条一丁目一三〇
TEL (011) 0006
FAX (011) 0006
札幌三信物流ビル四階
TEL (011) 0006
FAX (011) 0006



人とあかりの調和を考える

大光電機株式会社

函館事務所

札幌支店
TEL (011) 0804
FAX (011) 0804
函館市中央区南四条西一丁目二二
TEL (011) 0804
FAX (011) 0804
函館市乃木町二一 ぱれしやル九七
TEL (011) 0804
FAX (011) 0804
函館事務所
TEL (011) 0943
FAX (011) 0943



パナソニック(株)ライフソリューションズ社

北海道電材営業所
函館電材出張所

TEL (011) 0808
FAX (011) 0808
函館市桔梗二丁目二四一六
TEL (011) 0808
FAX (011) 0808

あしたの光で “ごちようい” を創ります。

東芝ライテック株式会社

北海道営業部函館営業所

TEL (011) 0001
FAX (011) 0001
函館市五稜郭町一十四 五稜郭114ビル三階
TEL (011) 0001
FAX (011) 0001



TANAKA CO., LTD.

情報社会をパフォーマンスする

田中商事株式会社

函館営業所

TEL (011) 0072
FAX (011) 0072
函館市亀田町一三番八号
本社・東京 電話 四〇一〇八〇〇
営業所・札幌、札幌東、釧路

電設資材総合卸



株式会社

新光照明

TEL (011) 0024
FAX (011) 0024
函館市高盛町七番一五
TEL (011) 0024
FAX (011) 0024
札幌市東区東苗穂十二条三丁目十九番八号
TEL (011) 0812
FAX (011) 0812



ISHIGAKI
ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス

石垣電材株式会社

本社
TEL (011) 0006
FAX (011) 0006
函館市中央区北六条西一丁目一五番
TEL (011) 0006
FAX (011) 0006
函館支店
TEL (011) 0824
FAX (011) 0824
函館市西桔梗町五八九番地三一五
TEL (011) 0824
FAX (011) 0824
八雲営業所
TEL (011) 3104
FAX (011) 3104
函館市西雲町内浦町二三四一五
TEL (011) 3104
FAX (011) 3104

未来環境を語る・造る

株式会社 エミヤ

函館営業所

TEL (011) 0824
FAX (011) 0824
函館市西桔梗町五八九一四九
TEL (011) 0824
FAX (011) 0824
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧、小樽